

事務事業名	真岡市封筒への有料広告掲載事業				担当	総務部 総務課 総務文書係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	4	健全な財政運営				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	真岡市封筒広告掲載取扱要綱					☒ 単年度繰返（開始年度 平成23 年度～）			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.一般管理費	1.文書業務費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市役所で使用する封筒に企業等の広告を有料で掲載し、自主財源を確保する。 広告の掲載を希望する企業等については一般募集するものとし、要綱に定める基準等に従い広告内容等を審査し、掲載の適否を決定する。 長型3号封筒 1枠（4cm×10cm）5万円 全部で4枠 製作枚数9万枚 角型2号封筒 1枠（7cm×20cm）5万円 全部で3枠 製作枚数3万枚								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 広告の募集（HP、ウィークリーもおか） 掲載広告の審査及び決定 広告入り封筒の印刷 広告料の徴収 2年度計画 前年度と同様				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア 広告の募集回数	回	1	1	1	1	1
				イ 応募のあった広告件数	件	6	6	7	6	7
				ウ 広告入り封筒の印刷枚数	枚	120,000	120,000	120,000	120000	120000
				エ						
				オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 市役所が使用する封筒				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア：市で使用した封筒（長3）	枚	134,000	150,000	180,000	157000	170000
				イ：市で使用した封筒（角2）	枚	62,000	75,000	60,000	80000	70000
				ウ						
				エ						
				オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 有料広告を掲載し収入を得る				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア：得られた広告収入	円	300,000	300,000	350,000	300000	350000
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 自主財源が増える				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア：広告掲載枠の充足割合	%	100	100	100	86	100
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
(2) 総事業費の推移										
				単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	32	32	32	32	32	
			人件費計（B）	千円	133	133	133	129	129	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	133	133	133	129	129	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		平成21年に「企業に広告入りの封筒を製作してもらい、それを市が寄付を受け使用してはどうか」との職員提案が出され検討した結果、平成23年度から市が有料広告を募集し、その収入を封筒製作費の一部に充当することとなった。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		平成23年度は「JAはが野」1社2件であったが、平成24年度から「祭りうえの」1社2件が加わり、2社4件となった。それ以後、同様の2社が続いていたが、27年度に4社7件、28年度からは4社6件、30年度は5社7件となった。 令和元年度は、前年度に広告を掲載したうちの1社から申請がなく、新規の申し込みもなかったため、4社（はが野農協、真岡病院、もおか鬼怒公園開発、二宮金次郎）6件となった。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										